

分析結果報告書〔10〕 1 / 12

4 廃棄物（ばいじん）試料（ダイオキシン類） （「特別管理廃棄物に係る基準の検定方法」に規定以外の抽出方法）

機関コード	
機関名	
郵便番号	
電話番号	
国際的な認証等の取得 （複数回答可）	1 . ISO 9001 ~ 9003 2 . ISO 14001 3 . ISO/IEC 17025(ガイト`25) 4 . M L A P 5 . 環境省が実施するダイオキシン類の請負調査の受注資格
分析主担当者（抽出操作） 氏名 経験年数 実績（年間の分析試料数）	 () ()年 ()
分析主担当者（クリーンアップ操作） 氏名 経験年数 実績（年間の分析試料数）	 () ()年 ()
分析主担当者（GC/MS操作） 氏名 経験年数 実績（年間の分析試料数）	 () ()年 ()
測定回数	()

注) 分析用試料のはかり取りからGC / MS等の測定までの一連操作を行った回数(1~5の整数)を記入する。

この測定回数分の分析結果を次の表(2 / 12 ~ 11 / 12)に記入する。例えば、1回測定の場合には、< 1回目の分析結果 > (2 / 12 及び 3 / 12)に記入し、< 2~5回目の分析結果 > (4 / 12 ~ 11 / 12)は記入しない。

分析結果報告書〔10〕 2 / 12

< 1 回目の分析結果 (PCDDs 及び PCDFs) > 注1)

区分	塩素数	分析項目	分析結果 (ng/g) 注2)		
			定量下限値以上	検出下限 ~ 定量下限	検出下限値未満での検出下限値
PCDDs 異性体	4 塩素化物	2,3,7,8-TeCDD			
	5 塩素化物	1,2,3,7,8-PeCDD			
	6 塩素化物	1,2,3,4,7,8-HxCDD			
		1,2,3,6,7,8-HxCDD			
		1,2,3,7,8,9-HxCDD			
	7 塩素化物	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD			
8 塩素化物	OCDD				
PCDFs 異性体	4 塩素化物	2,3,7,8-TeCDF			
	5 塩素化物	1,2,3,7,8-PeCDF			
		2,3,4,7,8-PeCDF			
		1,2,3,4,7,8-HxCDF			
	6 塩素化物	1,2,3,6,7,8-HxCDF			
		1,2,3,7,8,9-HxCDF			
		2,3,4,6,7,8-HxCDF			
		1,2,3,4,6,7,8-HpCDF			
7 塩素化物	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF				
	OCDF				
PCDDs 同族体	4 塩素化物	TeCDDs			
	5 塩素化物	PeCDDs			
	6 塩素化物	HxCDDs			
	7 塩素化物	HpCDDs			
	8 塩素化物	OCDD			
	計	PCDDs			
PCDFs 同族体	4 塩素化物	TeCDFs			
	5 塩素化物	PeCDFs			
	6 塩素化物	HxCDFs			
	7 塩素化物	HpCDFs			
	8 塩素化物	OCDF			
	計	PCDFs			
同族体の合計	PCDDs+PCDFs				

注1) 前記(1/12)で記入した測定回数分の分析結果を記入する。

注2) 分析結果(定量下限値以上、検出下限~定量下限)は有効数字2桁、検出下限値未満での検出下限値は有効数字1桁として該当する欄に記入する。

なお、一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意する。

分析結果報告書〔10〕 3 / 12

< 1 回目の分析結果 (DL-PCB) > 注1)

区分	塩素数	分析項目	分析結果 (ng/g) 注2)		
			定量下限値以上	検出下限～定量下限	検出下限値未満での検出下限値
ノンオルト異性体	4 塩素化物	3,4,4',5-TeCB (#81)			
		3,3',4,4'-TeCB (#77)			
	5 塩素化物	3,3',4,4',5-PeCB (#126)			
	6 塩素化物	3,3',4,4',5,5'-HxCB (#169)			
モノオルト異性体	5 塩素化物	2',3,4,4',5-PeCB (#123)			
		2,3',4,4',5-PeCB (#118)			
		2,3,3',4,4'-PeCB (#105)			
		2,3,4,4',5-PeCB (#114)			
	6 塩素化物	2,3',4,4',5,5'-HxCB (#167)			
		2,3,3',4,4',5-HxCB (#156)			
		2,3,3',4,4',5'-HxCB (#157)			
	7 塩素化物	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB (#189)			
その他	ノンオルト	注3)			
	モノオルト	注3)			
	計 (DL-PCB)	注3)			

注1) 前記 (1 / 12) で記入した測定回数分の分析結果を記入する。

注2) 分析結果 (定量下限値以上、検出下限～定量下限) は有効数字2桁、検出下限値未満での検出下限値は有効数字1桁として該当する欄に記入する。

なお、一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意する。

注3) 「ノンオルト」はノンオルト4異性体の和、「モノオルト」はモノオルト8異性体の和、「計 (DL-PCB)」はノンオルトとモノオルトの和を記入する。

< 1 回目の分析結果 (毒性当量: TEQ) > 注1)

区分	分析項目	分析結果 (ng/g)
T	TEQ (PCDDs 及び PCDFs) 注4)	
E	TEQ (DL-PCB) 注4)	
Q	計: TEQ (ダイオキシン類) 注4)	

注4) TEQは、異性体の濃度に毒性等価係数 (TEF) を乗じて算出する。

各異性体の濃度については、定量下限以上の値はそのままの値、定量下限未満で検出下限以上の値と検出下限未満のものは0 (ゼロ) とする。

TEFは、2006年にWHO/IPCSから提案されたものを用いる。

分析結果報告書〔10〕 4 / 12

< 2 回目の分析結果 (PCDDs 及び PCDFs) > 注1)

区分	塩素数	分析項目	分析結果 (ng/g) 注2)		
			定量下限値以上	検出下限 ~ 定量下限	検出下限値未満での検出下限値
PCDDs 異性体	4 塩素化物	2,3,7,8-TeCDD			
	5 塩素化物	1,2,3,7,8-PeCDD			
	6 塩素化物	1,2,3,4,7,8-HxCDD			
		1,2,3,6,7,8-HxCDD			
		1,2,3,7,8,9-HxCDD			
	7 塩素化物	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD			
8 塩素化物	OCDD				
PCDFs 異性体	4 塩素化物	2,3,7,8-TeCDF			
	5 塩素化物	1,2,3,7,8-PeCDF			
		2,3,4,7,8-PeCDF			
		2,3,4,7,8-PeCDF			
	6 塩素化物	1,2,3,4,7,8-HxCDF			
		1,2,3,6,7,8-HxCDF			
		1,2,3,7,8,9-HxCDF			
		2,3,4,6,7,8-HxCDF			
7 塩素化物	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF				
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF				
8 塩素化物	OCDF				
PCDDs 同族体	4 塩素化物	TeCDDs			
	5 塩素化物	PeCDDs			
	6 塩素化物	HxCDDs			
	7 塩素化物	HpCDDs			
	8 塩素化物	OCDD			
	計	PCDDs			
PCDFs 同族体	4 塩素化物	TeCDFs			
	5 塩素化物	PeCDFs			
	6 塩素化物	HxCDFs			
	7 塩素化物	HpCDFs			
	8 塩素化物	OCDF			
	計	PCDFs			
同族体の合計	PCDDs+PCDFs				

注1) 前記(1/12)で記入した測定回数分の分析結果を記入する。

注2) 分析結果(定量下限値以上、検出下限~定量下限)は有効数字2桁、検出下限値未満での検出下限値は有効数字1桁として該当する欄に記入する。

なお、一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意する。

分析結果報告書〔10〕 5 / 12

< 2 回目の分析結果 (DL-PCB) > 注1)

区分	塩素数	分析項目	分析結果 (ng/g) 注2)		
			定量下限値以上	検出下限～定量下限	検出下限値未満での検出下限値
ノンオルト異性体	4 塩素化物	3,4,4',5-TeCB (#81)			
		3,3',4,4'-TeCB (#77)			
	5 塩素化物	3,3',4,4',5-PeCB (#126)			
	6 塩素化物	3,3',4,4',5,5'-HxCB (#169)			
モノオルト異性体	5 塩素化物	2',3,4,4',5-PeCB (#123)			
		2,3',4,4',5-PeCB (#118)			
		2,3,3',4,4'-PeCB (#105)			
		2,3,4,4',5-PeCB (#114)			
	6 塩素化物	2,3',4,4',5,5'-HxCB (#167)			
		2,3,3',4,4',5-HxCB (#156)			
		2,3,3',4,4',5'-HxCB (#157)			
	7 塩素化物	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB (#189)			
その他	ノンオルト	注3)			
	モノオルト	注3)			
	計 (DL-PCB)	注3)			

注1) 前記 (1 / 12) で記入した測定回数分の分析結果を記入する。

注2) 分析結果 (定量下限値以上、検出下限～定量下限) は有効数字2桁、検出下限値未満での検出下限値は有効数字1桁として該当する欄に記入する。

なお、一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意する。

注3) 「ノンオルト」はノンオルト4異性体の和、「モノオルト」はモノオルト8異性体の和、「計 (DL-PCB)」はノンオルトとモノオルトの和を記入する。

< 2 回目の分析結果 (毒性当量: TEQ) > 注1)

区分	分析項目	分析結果 (ng/g)
T	TEQ (PCDDs 及び PCDFs) 注4)	
E	TEQ (DL-PCB) 注4)	
Q	計: TEQ (ダイオキシン類) 注4)	

注4) TEQは、異性体の濃度に毒性等価係数 (TEF) を乗じて算出する。

各異性体の濃度については、定量下限以上の値はそのままの値、定量下限未満で検出下限以上の値と検出下限未満のものは0 (ゼロ) とする。

TEFは、2006年にWHO/IPCSから提案されたものを用いる。

分析結果報告書〔10〕 6 / 12

< 3 回目の分析結果 (PCDDs 及び PCDFs) > 注1)

区分	塩素数	分析項目	分析結果 (ng / g) 注2)		
			定量下限値以上	検出下限 ~ 定量下限	検出下限値未満での検出下限値
PCDDs 異性体	4 塩素化物	2,3,7,8-TeCDD			
	5 塩素化物	1,2,3,7,8-PeCDD			
	6 塩素化物	1,2,3,4,7,8-HxCDD			
		1,2,3,6,7,8-HxCDD			
		1,2,3,7,8,9-HxCDD			
	7 塩素化物	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD			
	8 塩素化物	OCDD			
	PCDFs 異性体	4 塩素化物	2,3,7,8-TeCDF		
5 塩素化物		1,2,3,7,8-PeCDF			
		2,3,4,7,8-PeCDF			
		1,2,3,4,7,8-HxCDF			
6 塩素化物		1,2,3,6,7,8-HxCDF			
		1,2,3,7,8,9-HxCDF			
		2,3,4,6,7,8-HxCDF			
		1,2,3,4,6,7,8-HpCDF			
7 塩素化物		1,2,3,4,7,8,9-HpCDF			
		OCDF			
PCDDs 同族体	4 塩素化物	TeCDDs			
	5 塩素化物	PeCDDs			
	6 塩素化物	HxCDDs			
	7 塩素化物	HpCDDs			
	8 塩素化物	OCDD			
	計	PCDDs			
PCDFs 同族体	4 塩素化物	TeCDFs			
	5 塩素化物	PeCDFs			
	6 塩素化物	HxCDFs			
	7 塩素化物	HpCDFs			
	8 塩素化物	OCDF			
	計	PCDFs			
同族体の合計		PCDDs+PCDFs			

注1) 前記(1 / 12)で記入した測定回数分の分析結果を記入する。

注2) 分析結果(定量下限値以上、検出下限 ~ 定量下限)は有効数字2桁、検出下限値未満での検出下限値は有効数字1桁として該当する欄に記入する。

なお、一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意する。

分析結果報告書〔10〕 7 / 12

< 3 回目の分析結果 (DL-PCB) > 注1)

区分	塩素数	分析項目	分析結果 (ng/g) 注2)		
			定量下限値以上	検出下限～定量下限	検出下限値未満での検出下限値
ノンオルト異性体	4 塩素化物	3,4,4',5-TeCB (#81)			
		3,3',4,4'-TeCB (#77)			
	5 塩素化物	3,3',4,4',5-PeCB (#126)			
	6 塩素化物	3,3',4,4',5,5'-HxCB (#169)			
モノオルト異性体	5 塩素化物	2',3,4,4',5-PeCB (#123)			
		2,3',4,4',5-PeCB (#118)			
		2,3,3',4,4'-PeCB (#105)			
		2,3,4,4',5-PeCB (#114)			
	6 塩素化物	2,3',4,4',5,5'-HxCB (#167)			
		2,3,3',4,4',5-HxCB (#156)			
		2,3,3',4,4',5'-HxCB (#157)			
7 塩素化物	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB (#189)				
その他	ノンオルト	注3)			
	モノオルト	注3)			
	計 (DL-PCB)	注3)			

注1) 前記(1/12)で記入した測定回数分の分析結果を記入する。

注2) 分析結果(定量下限値以上、検出下限～定量下限)は有効数字2桁、検出下限値未満での検出下限値は有効数字1桁として該当する欄に記入する。

なお、一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意する。

注3) 「ノンオルト」はノンオルト4異性体の和、「モノオルト」はモノオルト8異性体の和、「計(DL-PCB)」はノンオルトとモノオルトの和を記入する。

< 3 回目の分析結果 (毒性当量: TEQ) > 注1)

区分	分析項目	分析結果 (ng/g)
T	TEQ (PCDDs 及び PCDFs) 注4)	
E	TEQ (DL-PCB) 注4)	
Q	計: TEQ (ダイオキシン類) 注4)	

注4) TEQは、異性体の濃度に毒性等価係数(TEF)を乗じて算出する。

各異性体の濃度については、定量下限以上の値はそのままの値、定量下限未満で検出下限以上の値と検出下限未満のものは0(ゼロ)とする。

TEFは、2006年にWHO/IPCSから提案されたものを用いる。

分析結果報告書〔10〕 8 / 12

< 4 回目の分析結果 (PCDDs 及び PCDFs) > 注1)

区分	塩素数	分析項目	分析結果 (ng/g) 注2)		
			定量下限値以上	検出下限 ~ 定量下限	検出下限値未満での検出下限値
PCDDs 異性体	4 塩素化物	2,3,7,8-TeCDD			
	5 塩素化物	1,2,3,7,8-PeCDD			
	6 塩素化物	1,2,3,4,7,8-HxCDD			
		1,2,3,6,7,8-HxCDD			
		1,2,3,7,8,9-HxCDD			
	7 塩素化物	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD			
	8 塩素化物	OCDD			
	PCDFs 異性体	4 塩素化物	2,3,7,8-TeCDF		
5 塩素化物		1,2,3,7,8-PeCDF			
		2,3,4,7,8-PeCDF			
		1,2,3,4,7,8-HxCDF			
6 塩素化物		1,2,3,6,7,8-HxCDF			
		1,2,3,7,8,9-HxCDF			
		2,3,4,6,7,8-HxCDF			
		1,2,3,4,6,7,8-HpCDF			
7 塩素化物		1,2,3,4,7,8,9-HpCDF			
		OCDF			
PCDDs 同族体	4 塩素化物	TeCDDs			
	5 塩素化物	PeCDDs			
	6 塩素化物	HxCDDs			
	7 塩素化物	HpCDDs			
	8 塩素化物	OCDD			
	計	PCDDs			
PCDFs 同族体	4 塩素化物	TeCDFs			
	5 塩素化物	PeCDFs			
	6 塩素化物	HxCDFs			
	7 塩素化物	HpCDFs			
	8 塩素化物	OCDF			
	計	PCDFs			
同族体の合計	PCDDs+PCDFs				

注1) 前記(1/12)で記入した測定回数分の分析結果を記入する。

注2) 分析結果(定量下限値以上、検出下限~定量下限)は有効数字2桁、検出下限値未満での検出下限値は有効数字1桁として該当する欄に記入する。

なお、一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意する。

分析結果報告書〔10〕 9 / 12

< 4 回目の分析結果 (DL-PCB) > 注1)

区分	塩素数	分析項目	分析結果 (ng/g) 注2)		
			定量下限値以上	検出下限～定量下限	検出下限値未満での検出下限値
ノンオルト異性体	4 塩素化物	3,4,4',5-TeCB (#81)			
		3,3',4,4'-TeCB (#77)			
	5 塩素化物	3,3',4,4',5-PeCB (#126)			
		6 塩素化物	3,3',4,4',5,5'-HxCB (#169)		
モノオルト異性体	5 塩素化物	2',3,4,4',5-PeCB (#123)			
		2,3',4,4',5-PeCB (#118)			
		2,3,3',4,4'-PeCB (#105)			
		2,3,4,4',5-PeCB (#114)			
	6 塩素化物	2,3',4,4',5,5'-HxCB (#167)			
		2,3,3',4,4',5-HxCB (#156)			
		2,3,3',4,4',5'-HxCB (#157)			
	7 塩素化物	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB (#189)			
その他	ノンオルト	注3)			
	モノオルト	注3)			
	計 (DL-PCB)	注3)			

注1) 前記(1/12)で記入した測定回数分の分析結果を記入する。

注2) 分析結果(定量下限値以上、検出下限～定量下限)は有効数字2桁、検出下限値未満での検出下限値は有効数字1桁として該当する欄に記入する。

なお、一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意する。

注3) 「ノンオルト」はノンオルト4異性体の和、「モノオルト」はモノオルト8異性体の和、「計(DL-PCB)」はノンオルトとモノオルトの和を記入する。

< 4 回目の分析結果 (毒性当量: TEQ) > 注1)

区分	分析項目	分析結果 (ng/g)
T	TEQ (PCDDs 及び PCDFs) 注4)	
E	TEQ (DL-PCB) 注4)	
Q	計: TEQ (ダイオキシン類) 注4)	

注4) TEQは、異性体の濃度に毒性等価係数(TEF)を乗じて算出する。

各異性体の濃度については、定量下限以上の値はそのままの値、定量下限未満で検出下限以上の値と検出下限未満のものは0(ゼロ)とする。

TEFは、2006年にWHO/IPCSから提案されたものを用いる。

分析結果報告書〔10〕 10 / 12

< 5 回目の分析結果 (PCDDs 及び PCDFs) > 注1)

区分	塩素数	分析項目	分析結果 (ng/g) 注2)		
			定量下限値以上	検出下限 ~ 定量下限	検出下限値未満での検出下限値
PCDDs 異性体	4 塩素化物	2,3,7,8-TeCDD			
	5 塩素化物	1,2,3,7,8-PeCDD			
	6 塩素化物	1,2,3,4,7,8-HxCDD			
		1,2,3,6,7,8-HxCDD			
		1,2,3,7,8,9-HxCDD			
	7 塩素化物	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD			
	8 塩素化物	OCDD			
	PCDFs 異性体	4 塩素化物	2,3,7,8-TeCDF		
5 塩素化物		1,2,3,7,8-PeCDF			
		2,3,4,7,8-PeCDF			
		1,2,3,4,7,8-HxCDF			
6 塩素化物		1,2,3,6,7,8-HxCDF			
		1,2,3,7,8,9-HxCDF			
		2,3,4,6,7,8-HxCDF			
		1,2,3,4,6,7,8-HpCDF			
7 塩素化物		1,2,3,4,7,8,9-HpCDF			
		OCDF			
PCDDs 同族体	4 塩素化物	TeCDDs			
	5 塩素化物	PeCDDs			
	6 塩素化物	HxCDDs			
	7 塩素化物	HpCDDs			
	8 塩素化物	OCDD			
	計	PCDDs			
PCDFs 同族体	4 塩素化物	TeCDFs			
	5 塩素化物	PeCDFs			
	6 塩素化物	HxCDFs			
	7 塩素化物	HpCDFs			
	8 塩素化物	OCDF			
	計	PCDFs			
同族体の合計	PCDDs+PCDFs				

注1) 前記(1 / 12)で記入した測定回数分の分析結果を記入する。

注2) 分析結果(定量下限値以上、検出下限 ~ 定量下限)は有効数字2桁、検出下限値未満での検出下限値は有効数字1桁として該当する欄に記入する。

なお、一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意する。

分析結果報告書〔10〕 11 / 12

< 5 回目の分析結果 (DL-PCB) > 注1)

区分	塩素数	分析項目	分析結果 (ng/g) 注2)		
			定量下限値以上	検出下限～定量下限	検出下限値未満での検出下限値
ノンオルト異性体	4 塩素化物	3,4,4',5-TeCB (#81)			
		3,3',4,4'-TeCB (#77)			
	5 塩素化物	3,3',4,4',5-PeCB (#126)			
	6 塩素化物	3,3',4,4',5,5'-HxCB (#169)			
モノオルト異性体	5 塩素化物	2',3,4,4',5-PeCB (#123)			
		2,3',4,4',5-PeCB (#118)			
		2,3,3',4,4'-PeCB (#105)			
		2,3,4,4',5-PeCB (#114)			
	6 塩素化物	2,3',4,4',5,5'-HxCB (#167)			
		2,3,3',4,4',5-HxCB (#156)			
		2,3,3',4,4',5'-HxCB (#157)			
	7 塩素化物	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB (#189)			
その他	ノンオルト	注3)			
	モノオルト	注3)			
	計 (DL-PCB)	注3)			

注1) 前記 (1 / 12) で記入した測定回数分の分析結果を記入する。

注2) 分析結果 (定量下限値以上、検出下限～定量下限) は有効数字2桁、検出下限値未満での検出下限値は有効数字1桁として該当する欄に記入する。

なお、一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意する。

注3) 「ノンオルト」はノンオルト4異性体の和、「モノオルト」はモノオルト8異性体の和、「計 (DL-PCB)」はノンオルトとモノオルトの和を記入する。

< 5 回目の分析結果 (毒性当量: TEQ) > 注1)

区分	分析項目	分析結果 (ng/g)
T	TEQ (PCDDs 及び PCDFs) 注4)	
E	TEQ (DL-PCB) 注4)	
Q	計: TEQ (ダイオキシン類) 注4)	

注4) TEQは、異性体の濃度に毒性等価係数 (TEF) を乗じて算出する。

各異性体の濃度については、定量下限以上の値はそのままの値、定量下限未満で検出下限以上の値と検出下限未満のものは0 (ゼロ) とする。

TEFは、2006年にWHO/IPCSから提案されたものを用いる。

分析結果報告書〔 1 0 〕 1 2 / 1 2

< 抽出 >

試料のはかり取り量 注 1)	1 回目 2 回目 3 回目 4 回目 5 回目	() g () g () g () g () g	メモ ()
2mol/L塩酸の使用量		() mL	
ろ過に使用したろ紙の種類		1. セルロース 2. ガラス繊維 3. 石英 4. その他 ()	
ヘキサン洗浄水の量		() mL	
洗浄溶媒 種類 量		1. メタノール 2. アセトン 3. その他 () () mL	
(塩酸処理後の残さ)抽出 方法		1. 高速溶媒抽出 (ASE) 2. 自動ソックスレー 3. 迅速自動抽出 (ソックスサム) 4. その他 ()	
溶媒		1. トルエン 2. ジクロロメタン 3. その他 ()	
(塩酸溶液・洗浄液)抽出 方法		1. 液・液抽出 2. その他 ()	
溶媒		1. トルエン 2. ジクロロメタン 3. その他 ()	
高速溶媒抽出 (ASE) メーカー 注 2)	メーカー 型式 抽出時間 溶媒量 圧力 温度 static Flush 回数	() () () 時間 () mL () p s i () () 分 () % () 回	
自動ソックスレー 注 2)	メーカー 型式 抽出時間 溶媒量	() () () 時間 () mL	
迅速自動抽出 (ソックスサム) 注 2)	メーカー 型式 抽出時間 溶媒量	() () () 時間 () mL	
その他 注 2)	メーカー 型式 抽出時間 溶媒量	() () () 時間 () mL	

注 1) 前記 (1 / 1 2) で記入した測定回数分の試料量を記入する。また、PCDDs及びPCDFs用とDL-PCB用で異なる取り方を行った場合等には、「メモ」欄にその概要を記入する。

注 2) 塩酸処理後の残さについて記入する。